

(Jusqu'à la gare...)

駅までは

安倍
枕流

【登場人物】

女の子

どこか。

部屋の中にも外にも見える。

女の子が一人、大きなぬひぐるみと並んで坐わってゐる。
音楽。ゆつくりと歌ひ出す女の子。

女の子

こぼゆる街に かなしみ満ちて
風のふきぬく とほき夜に
冴ゆるひかりぞ わがのぞみ
ゆくてをてらす カストール

いてつく道に よろこび絶えて
窓とざされし くらき夜に
映ゆるひかりぞ わがねがひ
まもらせたまへ ポルックス
……

歌ひながら、上を見上げる女の子。二〇〇三年二月八日午前二時、天頂から西に傾いたところで輝く双子座。彼女の眼には、確かに双子座のα星カストールとβ星ポルックスが見えるらしい。
女の子は、ぬひぐるみに向かって話し掛ける。

女の子

ほら、見えるやろ……？ あそこにはふたつ並んで見えるんが、ふたごのお星さま……。
青いほうがカストール、黄色いほうがポルックスいうねん……

むかしな、スパルタいう国のテュンダレオースいう王さまに、リーダーいうお妃さまがおつてな、すごい美人やつて、それ見たゼウスいう神さまが白鳥に化けて忍んできはつてな——え？ なんて白鳥に化けるんやて？ そら、ひとんちの奥さんやからやんか……。
え？ わからん？ うーんと、もうちよつと大きなたらわかるわ……

そんでな、そのうち、お妃さんは卵を産みはつてな——え？ なんて人間が卵を……？
そら、えーと、相手が白鳥やつたからやん……。え？ 「相手」てなんやて？ うーん、それも、もうちよつと大きなたらわかるて……。そんでな、その卵のどつちからも、男の子と女の子がひとりずつ生まれてな、つまり四つ子になつたわけや……。四人の名前はな、女の子たちがクリュタイメーストラーとヘレネーいうて、男の子たちがカストールとポリュデウケースいうてん……。ちなみにな、このヘレネーいうんは、大きなたつてから、世界一の美人ていわれるようになるんやで……

男の子のカストールとポリュデウケースは、ごつつう仲良しでな……。いつつもいっしょにおつて、どつちもスポーツ万能やつたもんやから、大きなたつてからいろんな冒険に出てな、そのうちのひとつが、有名な「アルゴ―船」の物語や……。え？ 知らん？ え、ねん、あんたは知らんで……。まあ、このハナシすると長なるからせえへんけど、そんなとき、船が嵐のせいで沈んでまういうときに、オルペウスいう詩人——まあ、今の「シンガー・ソング・ライター」やな——そのオルペウスが昔のギターひきながら歌うとて神さまにお祈りしたら、嵐がピタつとやんでんけど、そのとき、カストールとポリュデウケースの頭の上に、ふたつのお星さまが輝いて……。そんなときから、このふたごの神さまは、

嵐の時も船をみちびいてくれる、船乗りのシユゴシンになったんやて……

え？ それがどないしたて……？ あんた、ハナシの流れいうもんを考ええや……。そのカストールが、ふたごのお星さまのカストールで、ポリュデウケースがポルククスやないか……。なんやよう知らんけど、お星さまのほうはラテン語とかいうことばで呼ばなアカンねんて……。そんでな、このふたり、あるとき、従兄弟のイーダースとリュンケウス兄弟いうのんとしてしようもないことでケンカしてんけど……え？ しようもないことてなんやて？ うーんと、焼き肉の早食い競争、まあ、いうたらフード・バトルで負けたんやけど、それが、イーダースの策略やったいうねんな……。まあ、それでケンカしたら、カストールのほうに槍に刺されて死んでしもてん……。で、怒ったポリュデウケースはリュンケウスやっつけて、お父さん神さまのゼウスがイーダースやっつけて、親バカやなあ……

でも、死んだカストールは帰ってけえへん……。残されたポリュデウケースはむっちゃ泣いてな、自分も死のう思てんけど、死なれへんかってん……。なんでかいうたら、実はやな、このふたり、お父さんがちごたんや……。ほら、お母さんのリーダーは、卵ふたつ産んだやろ？ それって、片方が神さまとの卵で、もう片方が人間との卵やってん……。つまりな、ポリュデウケースとヘレネーのお父さんは神さまのゼウスで、カストールとクリュタイメーストラーのお父さんは人間のテュンダレオースやってん……。そのせいでな、カストールはふつうの人間やってんけど、ポリュデウケースは半分神さまの血がはいって、死なへん人やってん……。でも、あんまり悲しかったんで、お父さんのゼウスにな、自分も死なしてくれいうてお願いしてんけど、それはアカンかってんけど、その命をカストールと半分こするいうことになつてな、そんで、一年の半分はお空で、残りの半分は地下の世界でくらすようになったんやて……。なんやようわからんけど、メダシメダシ

や……。ほんま、ずうつといっしょにいたかったんやろな……

女の子、くしやみを一つして、涙をすゝる。

女の子

なあ、寒いなあ……。？ あんたも涙かむか……。？ えゝの……。？ ふーん……。？ そろ、駅、いこか……。？ まあ、駅いっても、もう閉まつてるやろけどな……。それに、まだ来てへんやろし、お母さん……。ほら、涙かみて……

ポシエットからポケット・ティッシュ出して、ぬひぐるみの涙をかんでやる。

女の子

はい、チーン……。すつきりしたやろ……。？ あかんで、涙なんかたらしとつたら……。？ アホの子みたいやし、嫌われるで、新しお父さんに……。そないなつたら、お母さん、困るやろし……

ポシエットにティッシュを仕舞ふ。

女の子

さ、そろそろいこか……。え？ 歩かれへんの……。？ おなかすいた……。？ ニンジン食べたい……。？ あんた、ニンジンなんか食べへんやん……。？ ニンジン、あたしかてキライヤし、だいたい、持ってへんよ、ニンジンなんか……

ポシエットの中を探ってみる。

女の子 ガムやったらあるで……。けど、あんた、ガムもかまれへんしな……

鼻歌。

女の子 どうしよっかなあ……。お母さん、駅で会お、いうてたもんな……。けど、駅で、どういつたらえゝんやろ……。あんた、知ってる、駅までの道……。知らんの……。ぬいぐるみやから知らん……。なにいうてんの、そんな理由になれへんよ……

上を見上げる。

女の子 ふたごのお星さま、きれいやなあ……。あ、そうや、船をみちびいてくれるいうんやから、あたしたちかてみちびいてくれるはずや……。なんたって、シュゴシンやもん……。だいじょうぶ、駅なんて、すぐやろし……

ぬいぐるみの頭を撫でてやる。

女の子 おなかまだすいてる……。もう、だいじょうぶ……。じゃあ、立てる……。え、立てへん……。なんやのん、ふにやふにやして……。ぬいぐるみやから……。だから、そんなん理由になれへんてば……。さ、歩こ……。え、まだあかん……。こんどは眠い……。もう、しつかりしいや……。ほら、嫌われんで、ちゃんとしとかな……。しゃあないなあ、もうちよっと、こゝにいよか……。まだ時間あるやろし……。けど、いま、

何時やろ……。最後の電車が一二時三〇分……。じっとしてると、なんか、時間のたつのがゆっくりやなあ……。えーと、朝一番の電車って、何時やったつけ……。たぶん、四時半とかかな……。朝一番の電車に乗るから、駅でまっつゝ、お母さん、用事すましたら、きつといくから……。しゃあないよなあ、用事あるんやもん……。けど、用事で、なんやろ……？

ぬいぐるみに耳を傾ける。

女の子 え、どないしたん……。寒い……。けど、暑い……。なーんやそれ……。寒うて暑い……。遠くて近いは男女の仲やけど、寒くて暑いは、なんやゼンゼンわからへん……

ぬいぐるみの額に手を当てる。

女の子 あ、どないしたん……。熱あるやん……。風邪ひいたんかな……。たいへんや……。どないしよ……。動ける……。あかん……。病院や、病院いかな……。病院いって注射うってもろたら、すぐなおるよ……。あたしも経験あんねん、病院いって注射……。痛いことあれへんで……。まあ、ちよびつとは痛いけど……。あのときはお父さんが自動車でつれてってくれて……。自動車や……。お父さん……。あかん……。お母さん……。どこにおんのやろ……

どんだん具合が悪くなつていくらしいぬひぐるみ。
上着を脱いで、ぬひぐるみに被せる女の子。

女の子

なあ、だいじょうぶか……？　しつかりしいや……。あかんで、こんなんで熱だしと
ったら、新しいお父さんに嫌われんで……。そしたら、お母さんも困って……。困って、
連れてつてくれへんで……。なあ、どないしたん……。？　返事してえや……。？　なあ……。？
なあ……。？

廳で、ゆつくりとぬひぐるみを離す。

女の子

もう、息してへん……

上を見上げる。

女の子

あゝ、いつのまにか、ふたごのお星さまも、見えへんようになってしもたなあ……

ト、女の子、正面を見据ゑる。

女の子だけにサス。

女の子

お母さん、あたし、もう、駅へはいきません……。この子といっしょに、こゝに、ず
つといます……

さうして、ぬひぐるみをぎゅっと抱きしめる。

女の子

もう、どこもいかんとつて……。あたしもいかへんし……。ずっと、いっしょや
……。？

星々、答へるかのやうに瞬いて……。

音楽。

幕。